

令和四(二〇二二)年度 入学試験問題 (一次)

国 語

令和四年一月二十二日

十三時三十分～十四時三十分

〈 全体的な注意事項 〉

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開けないでください。
- 二 この冊子の本文は、十九ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には申し出てください。
- 三 試験開始とともに、解答用紙の指定欄に受験番号・氏名を記入し、さらに解答用紙のマーク欄に受験番号をマークしてください。
- 四 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入してください。
- 五 やむを得ずトイレに行く場合や質問がある場合には、無言で手をあげ、試験監督者の指示に従ってください。
- 六 解答用紙は、持ち帰つてはいけません。持ち帰つた場合は、失格となります。

〈 マーク記入上の注意事項 〉

- 一 解答は各設問ごとに指定された数だけ選び、該当する記号を塗りつぶしてください。
- 二 解答には、HBの鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
- 三 訂正は消しゴムできれいに消してください。

第一問 次の文章を読んで、後の問い（問一～問六）に答えよ。

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

問一 空欄 a ｝ d に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。ただし、

同じものを二度以上用いてはならない。

a

1

b

2

c

3

d

4

- ① もしくは ② ちょうど ③ 要するに ④ ところが
⑤ やがて ⑥ かつ ⑦ たとえ ⑧ 翻って

問二 空欄 X ｝ Y に入れるのに最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ

選び、マークしなさい。

X

5

- ① 身体のあるべき姿を求めて
② ほぼ完全な科学的体系として
③ 類推と思弁の力を駆使して
④ 教会権力の意向に従って
⑤ 誤りを一つ一つ正して

Y

6

- ① ガリレオと同じように顕微鏡観察に身を投じ、「人間の身体」をごく身近なものにする
② 先人から受け継がれてきた価値観を克服し、それまでは考えられなかったものを発明する
③ 肉眼では捉えることのできない対象の存在を明らかにし、それを人工的に再生産する
④ 「新たな視界」を切り開き、人間をはじめとする生命体の基本要素をすべて明らかにする
⑤ いま目の前に見えている世界を理解し、それを人間にとっての共通の知識として成立させる

問三 傍線部1「ベレンガリオ・ダ・カルピ（二四六〇頃―一五三〇）の解剖図〔図〕」とあるが、筆者は〔図〕を用いてどのよう

なことを述べようとしているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

7

- ① いかにも健康そうで理想的な身体をした青年であっても、目に見えないところでは病気に侵されている可能性があり、それがかつての生理学研究者はどうかして観察したいと思っていたということ。
- ② 健康な人体の内部こそ、かつて生理学研究者が最も興味を寄せた対象であったが、皮肉にも、ひとたび生きた人間にメスを入れれば、それは求めていた対象ではなくなってしまうということ。
- ③ 理想的な体躯をした青年の身体の内部を観察することは、研究者にとっては魅力的かもしれないが、健康な人間にメスを入れるなどということは、いくら研究目的であっても倫理的に許されないということ。
- ④ 元気に生きているように見える人間の身体であっても、そこにメスを入れるということは何らかの不具合があるからなので、健康な人体の内部を観察するということは決してできないということ。
- ⑤ 青年が笑いながら皮膚をめくりあげて腹筋を見せるなどということは現実にはありえず、当時の生理学研究者はその研究の困難さゆえに、自分たちの願望と現実を混同するようなどころがあったということ。

問四 傍線部2「『新たな視界』が決してそのまま人間の新たな『自然』理解に結びつくものではなかった」とあるが、それは具体的にどういふことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

8

- ① レーウエンフックは「砂粒の一〇〇〇倍は小さい」水中の生物を観察することに成功したとされているが、それに関する記録は今日に受け継がれていないということ。
- ② レーウエンフックは「水中の非常に小さな生きもの」を顕微鏡で観察し、詳細に記録したが、その方法はフックのスタイルを踏襲したものにとどまっていたということ。
- ③ レーウエンフックはアマチュアでありながら、「水中の小さな生きもの」を発見し名声を得たが、それ以降は記録に残るような発見をすることはなかったということ。
- ④ レーウエンフックは独自の顕微鏡を用いて、水の中にいる微細な生きものを観察したが、それとビール酵母との関連性を見出すには至らなかったということ。
- ⑤ レーウエンフックは人類史上初めて「微生物の観察」を行ったが、それがどのような構造をしているのかという点については意味のある発見ができなかったということ。

問五 傍線部3「同じような転換」とあるが、それはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選び、マークしなさい。

9

- ① 極小の単位の存在を契機に全体の構成を明らかにするといふもの。
- ② 人間には毒であるとされてきたものの積極的な効果に気づくといふもの。
- ③ 一人の知見でしかなかったものが広く共有されるようになるといふもの。
- ④ 異なるように見られてきたものの間に関連性を見出すといふもの。
- ⑤ 得られた知識をもとに未知の対象を演繹的に理解するといふもの。

問六 次のイ～ホについて、本文の内容と合致するものは①に、合致しないものは②に、それぞれマークしなさい。

イ 西洋世界において、病理学と生理学で発展に時間的な差が生じたのは、生きた人間の身体を直接扱わなくてはならない生理学の研究を、中世の大学人たちが信仰上の理由から拒否したことによるところが大きい。 10

ロ 身体は人間の意識にとつて最も身近な自然であるにもかかわらず、マルپیギによって生体の理解が大きく転回されるまでは、最も観察しづらい対象であるとして、解剖学の研究対象とされてこなかった。 11

ハ シュライデンとシュヴァンによって、細胞が植物だけでなく動物の身体をも構成していることが明らかにされ、それ以降、ヨーロッパでは人体研究を取り巻く状況が一変し、医学が飛躍的に発展することになった。 12

ニ レーウエンフックは水中の小さな生きものを観察し、その他にも史上初とされる観察記録を残したが、ビール酵母を構成する「小球」と赤血球が「同じもの」とした説明などは今日では科学的に受け継がれていない。 13

ホ 天体を観察し「それでも地球は回っている」という言葉を残したガリレオは、似たような関心から顕微鏡でハチの外皮を観察しているが、そのミクロの観察は当時の学者を魅了し、自然研究が流行する契機となった。 14

第二問 次の文章を読んで、後の問い（問一～問七）に答えよ。

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

「この箇所については、著作権上の都合により、公開しておりません。」

問一 空欄 a) f に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。ただし、同じものを二度以上用いてはならない。

a 15 b 16 c 17 d 18 e 19 f 20

- ① 日本語 ② 文献 ③ 関連語 ④ 動作主
⑤ 名詞 ⑥ 外国語 ⑦ 文脈 ⑧ 意味

問二 傍線部1「私はこれを『知識ドネルケバブ・モデル』と呼んでいる」とあるが、「知識ドネルケバブ・モデル」に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。 21

- ① 子どもが音韻や文法の規則、単語の意味といった言語を構成する要素を、まるでドネルケバブの肉片のようにぺたぺたと貼り付け、母国語を習得していく過程を視覚的に表したものである。
- ② 知識とは「客観的な事実」であると安易にとらえ、その断片をぺたぺたと貼り付け、重ねていけば、役に立つ知識を習得できるとする考え方を、比喻を用いて表現したモデルである。
- ③ 中高生がテスト前に単語の意味を付け焼刃で覚える様子を類比的に表現したモデルであり、そのようにして獲得された知識は、「使うための知識」にはなっても「生きた知識」にはならない。
- ④ 「知識＝事実」のエピステモロジーにもとづくものであり、知識とはドネルケバブの肉片のように簡単に切り分けて使うことができれば意味がないとする考え方を表現している。
- ⑤ 客観的な事実を「使うための知識」へとダイナミックに高めていく過程を、ドネルケバブになぞらえたモデルだが、実際にそのようにして知識が習得されることはほとんどない。

問三 傍線部2「あまたの」の意味として最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

22

- ① 月並みの
- ② すべての
- ③ 同程度の
- ④ ごく一部の
- ⑤ 数多くの

問四

傍線部3「このシステムは、要素が加わることによって絶え間なく編み直され、変化していく『生き物』のような存在なのだ」とあるが、なぜ「生き物」のようであるといえるのか。その理由として最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

23

- ① 「生きた知識」のシステムは、新たなものを取り入れると、その影響を受けてシステム全体もまた変動するということを繰り返しているから。
- ② 「生きた知識」のシステムは、できるだけ客観的な情報を取り入れ、それを自分なりに解釈することによってはじめて「生きた知識」となるから。
- ③ 「生きた知識」のシステムは、一定不変ではなく、そこでは新たに取り入れられたものが古いものにとって代わるといって代謝が起きているから。
- ④ 「生きた知識」のシステムは、例えば暗記した単語の意味や文法的な規則などを取り入れ、全体としてのポリュームを徐々に大きくしていくから。
- ⑤ 「生きた知識」のシステムは、それを構成する知識の間に有機的な関連を張りめぐらし、それを拡張していくことによって完成へと近づいていくから。

問五 空欄 X Y に入れるのに最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ

選び、マークしなさい。

X

24

- ① 母国語のネイティブ話者として生きていくためのマナーを、生まれながらにして身につけている
- ② 自分の親が話す言葉を学び、ドネルケバブのような母国語の体系を自分なりに築き上げていく
- ③ ドネルケバブの肉片のようにすでに切り取られた知識片を「はい」と渡されて、それを暗記している
- ④ あらかじめ定められた母国語のさまざまなルールを、そのままのかたちで学び取っていく
- ⑤ 周囲の大人たちがするように、ドネルケバブの肉片のような知識の切れ端を機械的に習得していく

Y

25

- ① 顕微鏡の操作が容易にできるようになると
- ② いったん何を探せばよいのか気づかされると
- ③ 他人から思いもよらない助言を得ると
- ④ できる限り長い時間真剣に観察を続けると
- ⑤ 対象を自己に還元できるようになると

問六 傍線部4「知識は『客観的な事実』ではない」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、マークしなさい。

26

- ① 環境の中でよりよく生きていくために必要とされる知識は、さまざまな人生の経験を通じて習得されるものであり、その意味で、相対的にならざるをえないから。
- ② 知識とは普遍的な意味や価値をもつものではなく、自分の置かれた環境の中で生きていくために必要なものを自ら見つけ出し、解釈を加えたものであるから。
- ③ 私たちが知識を習得する機会は平等なものではないため、どのような知識を必要とし、それにどのような解釈を施すかは人によって違ってくるから。
- ④ 例えば単語の音素のような知識は取るに足らないものであり、「face」と「face」の区別ができたとしても、現実の世界に対する理解が深まるわけではないから。
- ⑤ すべての知識はありのままの世界をそのまま表現したのではなく、私たちが解釈し理解した世界を、言語を用いて恣意的に表現したものにすぎないから。

問七 次のイ〜へは、本文の表現や論の展開に関して述べているが、説明として適当なものは①に、不適当なものは②に、それぞれ

マークしなさい。なお、①〜⑬は段落番号を示している。

イ ①で「ドネルケバブ」を、筆者は②以降で知識の一つのあり方を表すモデルとして用い、ドネルケバブのような断片の寄せ集めの知識では、中学や高校のテストでもまったく役立たないと指摘している。 27

ロ ③から⑧では「母国語」の問題にしぼって、子どもが言語を獲得していく過程においてどのような問題が生じ、それをどう克服していくべきかを論じ、特に⑦・⑧では卑近な例を挙げることによって、読者の理解を図っている。 28

ハ ④にある「暗記」にはかぎ括弧が付けられているが、そこからは、辞書にある単語の意味をすべて暗記することなどできるはずがないというだけでなく、そのようなことをしても意味のある知識にはならないという筆者の考えが読み取れる。 29

ニ ⑨以降では、⑧までで繰り返されてきた「知識ドネルケバブ・モデル」に対する批判を踏まえ、子どもの母国語の学習がどうあるべきかという点について、日本語と英語を対比させながら筆者の持論がわかりやすく述べられている。 30

ホ ⑪の「図」について、それを見た人は誰でも「ダルマシアン犬が浮き出てきたように見える」という指摘があるが、傍点が付されていることによって、「浮き出てきたよう」に見えるのはあくまでも主観的な認識であることがわかる。 31

ヘ ⑫では、鶏のヒナのおしりを見て雌雄の区別がつく人と、電子顕微鏡で細胞組織を難なく観察できる人の例が挙げられているが、⑬では、そのように世界が見えるようになるのには、見る人の認識が深くかかわるということが指摘されている。 32

第三問 以下の問い（問一～問五）に答えよ。

問一 次のA～Dについて、傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、後の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A 交通のヨウシヨウとして栄える。 33

- ① 各国の利害がシヨウトツする。
- ② 弁護士だとギシヨウする。
- ③ 器に細かなイシヨウを凝らす。
- ④ 広く勉学をシヨウレイする。
- ⑤ 新薬のリンシヨウ試験を行う。

B 地域のコンシン会に参加する。 34

- ① コンセツ丁寧に対応する。
- ② 十年來のアイコンを晴らす。
- ③ セイコン込めて料理を作る。
- ④ 人の営みのコンセキをたどる。
- ⑤ 新たに土地をカイコンする。

C 不況で企業がトウサンする。 35

- ① 腐敗した政治をソウトウする。
- ② コウトウ無稽なことを言う。
- ③ ダトウな値段で取引する。
- ④ 激痛のあまり七転バツトウする。
- ⑤ 部下の提案をトウカンに付す。

D 不動産の価値をカンテイする。 36

- ① 初志を最後までツラヌク。
- ② 師の教えをキモに銘ずる。
- ③ 三月に入り寒さがユルむ。
- ④ からかわれてカムムリを曲げる。
- ⑤ 近年の世界情勢にカンガみる。

問二 次のA～Cの空欄に入る語を、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A 鶏口牛

37

B 宇壮大

38

C 一 一会

39

- ① 気 ② 毛 ③ 後 ④ 生 ⑤ 期 ⑥ 互

問三 次のA～Cのカタカナの語の意味に最も近いものを、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A ナンセンス

40

B ステディ

41

C プライスレス

42

- ① 混乱した ② 価値が高い ③ 廉価な ④ わずらわしい ⑤ 無意味な ⑥ 着実な

問四 次のA～Cの対義語として最も適当なものを、後の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A 一時的

43

B 流動的

44

C 対立的

45

- ① 固定的 ② 永続的 ③ 協調的 ④ 共時的 ⑤ 守旧的 ⑥ 専門的

問五 次のA・Bの言葉の用法として不適当なものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。

A 試金石

46

- ① 今後の市場展開を占う試金石として、新たな商品を投入する。
- ② 秋季大会は、春季大会出場のための試金石と位置付けられている。
- ③ 各国の感染症対策は、政府の危機管理能力を測る試金石となる。
- ④ 多くの高校生が、問題集を入試に向けた試金石として購入している。

B モチベーション

47

- ① 水や空気は、生存を維持するための最低限のモチベーションである。
- ② 周囲の人たちの応援が、競技を続けるモチベーションとなる。
- ③ 生徒に対する叱責は、かえってモチベーションを奪うことになる。
- ④ モチベーションを高めるために、あえて困難な目標を掲げる。